2015年2月期 第3四半期決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス（3063）

2015年1月21日

目次

1. 第 3 四半期 連結決算概要

連結損益計算書概要 -------------- 4

連結貸借対照表概要 -------------- 5

セグメント別業績概況 -------------- 6

飲食事業の業態分析 -------------- 7

2. 第 3 四半期トピックス

過去最高の売上高・営業損失は大幅に低減 ---------- 9

第 3 四半期の出店状況 -------------- 10

既存店収益状況 -------------- 11

構造改革の進捗状況 -------------- 12

独立支援飲食ビルのプロデュース -------------- 13

独立支援飲食ビル「ジェイチル名駅」開業----------- 14

「ジェイチル名駅」入居テナント ----------- 15

店舗数の推移 -------------- 16

3. 今後の取り組み

継続的な構造改革の推進 -------------- 18

第 4 四半期の出店状況 -------------- 19

今期の業績見通し -------------- 20

1. 第 3 四半期 連結決算概要

連結損益計算書概要

（百万円）

	2014年2月期 第3四半期実績	構成比(%)	2015年2月期 第3四半期実績	構成比(%)	前年同期比(%)
売上高	8,392	100.0	**10,054** ①	**100.0**	119.8
売上原価	2,573	30.7	**3,097**	**30.8** ②	120.4
売上総利益	5,818	69.3	**6,957**	**69.2**	119.6
販売管理費	5,939	70.8	**7,000**	**69.6**	117.9
営業利益または営業損失	△121	—	**△43** ③	**—**	—
営業外収益	102	1.2	**83**	**0.8**	81.6
営業外費用	63	0.8	**61**	**0.6**	96.2
経常利益	△81	—	**△20**	**—**	—
特別利益	—	—	**—**	**—**	—
特別損失	8	0.1	**3**	**0.0**	36.2
税金等調整前四半期純損失	△90	—	**△23**	**—**	—
四半期純損失	△75	—	**△56**	**—**	—

①売上高は前年同期比 119.8% となり、第 3 四半期として 過去最高の売上高を達成。
第 3 四半期は業界全体が伸び悩んだこともあり、計画よりは若干下回って着地。

②飲食事業単独での原価率は 27.3% となり前年同期比 0.3 ポイントの増加。原材料費の高騰等により原価が増加する中、原価低減への取り組み により上昇を抑制。

③前期と比較して大幅に損失を低減。売上高が若干計画を下回ったため黒字回復までは至らず。

連結貸借対照表概要

（百万円）

	2014年2月期 期末	2015年2月期 第3四半期末
【資産の部】		
流動資産	1,321	**1,743**
現金及び預金	708	**841**
売掛金	267	**410**
たな卸資産	80	**95**
その他	265	**396**
固定資産	6,375	**7,178**
有形固定資産	4,955	**5,570**
建物及び構築物	3,004	**3,360**
土地	1,428	**1,632**
その他	522	**577**
無形固定資産	31	**53**
投資その他の資産	1,388	**1,553**
繰延資産	8	**6**
資産合計	7,706	**8,928**

	2014年2月期 期末	2015年2月期 第3四半期末
【負債の部】		
流動負債	2,134	**3,116**
買掛金	264	**605**
短期借入金 ※一年内返済予定長期借入金との合計	818	**980**
その他	1,050	**1,530**
固定負債	3,541	**3,856**
長期借入金	3,012	**3,292**
その他	528	**563**
負債合計	5,675	**6,972**
【純資産の部】		
株主資本	2,056	**1,984**
資本金	1,068	**1,068**
資本剰余金	998	**998**
利益剰余金	64	**△7**
自己株式	△76	**△76**
その他の包括利益累計額	△26	**△32**
新株予約権	―	**3**
純資産合計	2,030	**1,955**
負債純資産合計	7,706	**8,928**

セグメント別業績概況

（百万円）

		2014年2月期 第3四半期実績	2015年2月期 第3四半期実績	前年同期比（%）	ポイント
飲食事業 居酒屋、レストラン等での飲食サービスの提供	売上高	7,350	**8,963**	122.0	前期比では売上高、利益ともに順調に増加。第3四半期の売上高は業界全体の伸び悩みにより、計画より若干下回って推移。
	営業利益	145	**293**	201.6	
ブライダル事業 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	744	**743**	99.9	リニューアルが完了し新施設が稼働。 引き続き受注は順調に推移し、安定した売上高・利益を計上。
	営業利益	58	**62**	107.0	
不動産事業 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	1,168	**1,280**	109.6	新しく独立支援ビルとして「ジェイチル名駅」を11月に開業。 第4四半期より本格的に売上高、利益へ貢献。
	営業利益	103	**114**	111.3	
その他の事業 広告代理業、卸売業等	売上高	607	**647**	106.7	原価低減の一環として、始めた物流センターが本格稼働。 初めての取り組みとなる中食事業も9月にスタート。
	営業利益	43	**56**	131.0	
調整額	売上高	△1,478	**△1,581**	—	
	営業利益	△470	**△569**	—	
連結財務諸表計上額	売上高	8,392	**10,054**	119.8	
	営業利益	△121	**△43**	—	

飲食事業の業態分析

（百万円）

業態区分		2014年2月期 第3四半期実績	2015年2月期 第3四半期実績
居酒屋業態	売上高	5,740	**6,637**
	営業利益 （本部経費配賦前）	519	**694**
レストラン業態	売上高	1,227	**1,070**
	営業利益 （本部経費配賦前）	103	**132**
カフェ業態	売上高	―	**714**
	営業利益 （本部経費配賦前）	―	**29**

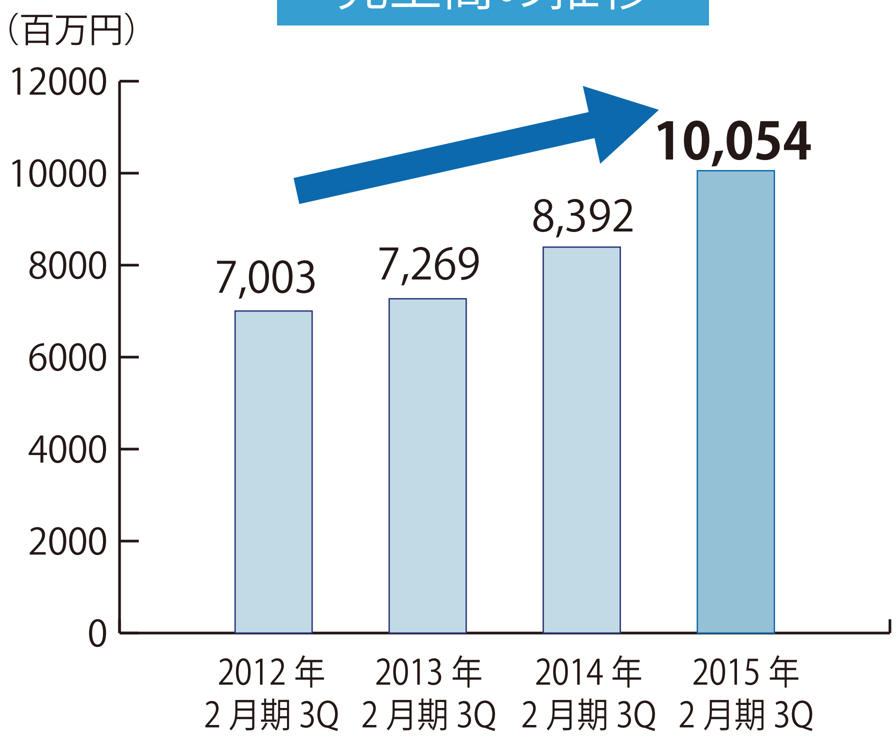
※出店する業態構成の変遷に伴い業態分類を変更したため、カフェ業態の前期の数値は記載されておりません。

※前期までの分類による「レストラン業態」「SC業態」を統合して、新たに「レストラン業態」に分類しております。

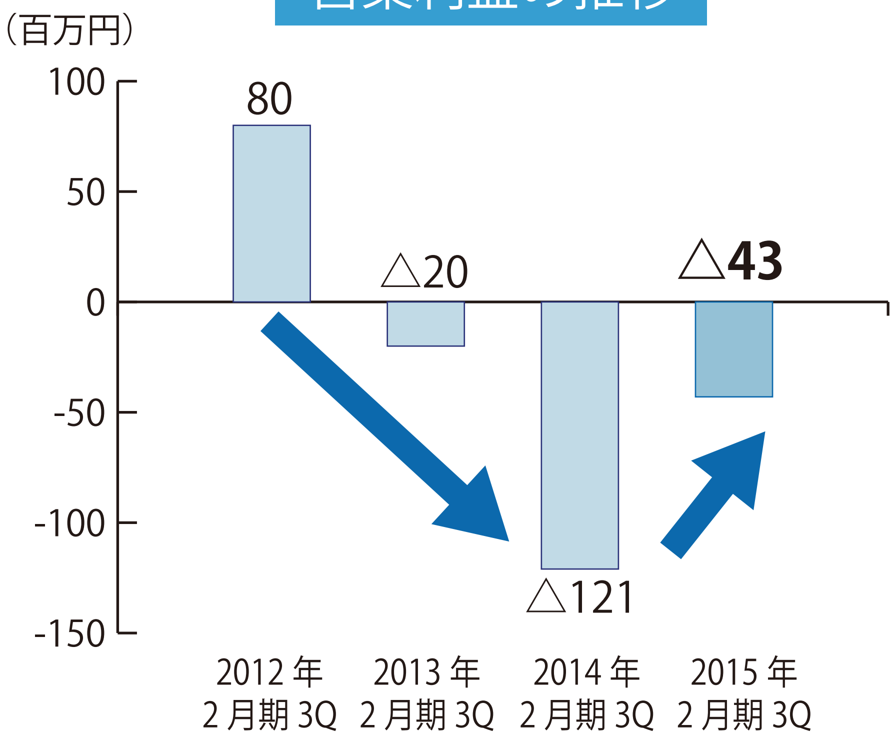
2. 第 3 四半期トピックス

過去最高の売上高・営業損失は大幅に低減

売上高の推移



営業利益の推移



店舗数の増加による増収効果

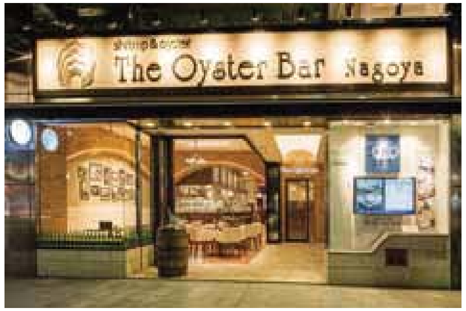
居酒屋業界は全体として伸び悩む中
業界平均を上回る既存店業績

構造改革により収益力は向上傾向にあるが、第3四半期は業界全体が厳しく黒字化までの回復には至らず

第 3 四半期の出店状況

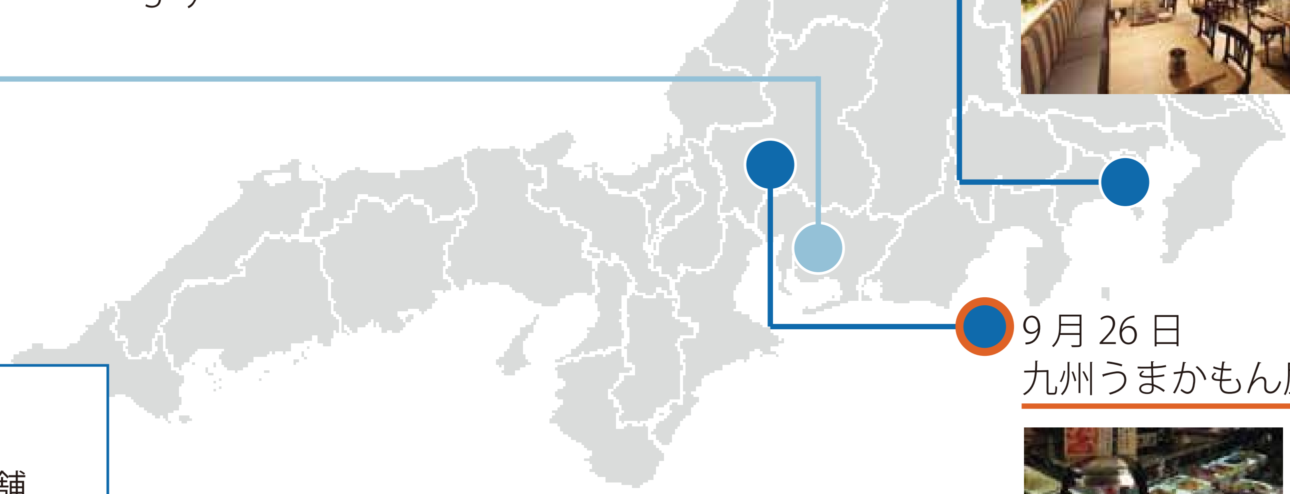
新規出店等

新規出店 2 店舗、リニューアル 1 店舗
それぞれオープン後は堅調な売上を計上



9 月 1 日
The Oyster Bar Nagoya

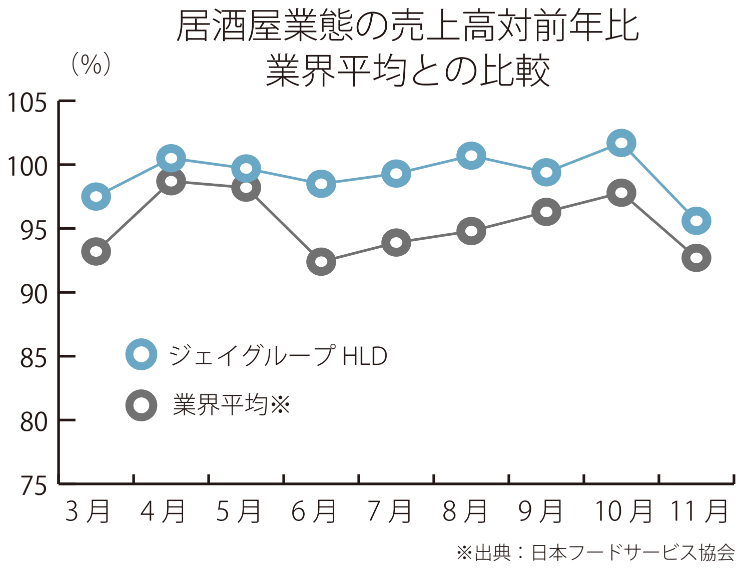
9 月 29 日
Seafood & Wine MARCADO

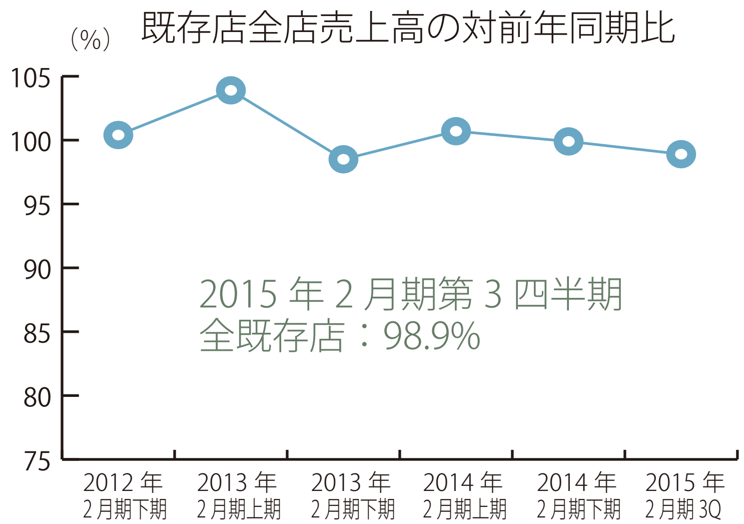


9 月 26 日
九州うまかもん屋

- 新規出店 2 店舗
- リニューアル 1 店舗
- 新業態 2 業態

既存店収益状況





		2013年	2014年		2014年2月期実績										2015年2月期第3四半期実績
		12月	1月	2月		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
居酒屋業態	売上高前年同月比	98.9%	101.8%	97.3%	99.3%	97.5%	100.5%	99.7%	98.5%	99.3%	100.7%	99.4%	101.7%	95.6%	99.1%
	来店客数前年同月比	98.5%	101.3%	97.9%	99.8%	97.3%	101.2%	100.9%	98.6%	98.9%	100.0%	98.8%	101.3%	95.7%	99.1%
	客単価前年同月比	100.4%	100.4%	99.3%	99.6%	100.2%	99.3%	98.8%	99.9%	100.3%	100.7%	100.6%	100.4%	99.9%	100.0%
レストラン業態	売上高前年同月比	108.2%	106.2%	100.3%	104.2%	103.6%	95.6%	100.1%	97.0%	101.3%	96.1%	92.2%	93.5%	102.5%	98.1%
	来店客数前年同月比	104.2%	104.6%	98.3%	103.4%	99.7%	94.7%	95.1%	94.4%	95.5%	92.7%	90.1%	90.3%	99.2%	94.7%
	客単価前年同月比	103.5%	99.1%	100.9%	100.3%	103.9%	101.0%	105.3%	102.7%	106.1%	103.7%	102.3%	103.6%	103.4%	103.6%

※既存店基準：開店日より 24 ヶ月を経過した店舗を対象としております。
※カフェ業態は当期より新たに区分しているため表記しておりません。
※前期までの分類による「レストラン業態」「SC 業態」を統合して、
新たに「レストラン業態」に分類しております。

構造改革の進捗状況

原価改革	芋蔵原価率 25.3%→25.1%	様々な食材原価が高騰する中で、芋蔵の原価率は 0.2 ポイントの削減。
人件費改革	店舗人件費比率 28.3%→26.3%	本部管理への移行、「1・1・2管理」の実行などにより 2.0 ポイントの削減。
販管費改革	主要販管費比率※ 11.2%→10.4%	予算管理の徹底、合同出稿の促進などの取り組みにより 0.8 ポイントの削減。

※広告宣伝費、販売促進費、求人費、水道光熱費、消耗品の合計

独立支援飲食ビルのプロデュース

飲食業に最適化された
立地・建物をプロデュース

独立支援飲食ビル

保証金や設備費用など
多くの面で優遇

採用や仕入れなど
グループ全体で支援

ジェイチルドレン
※グループ内の独立希望者

独立し新規出店

信頼できる入居者による
安定的な不動産収益

ジェイグループのメリット

- 独立支援を強化することで従業員のモチベーションを向上
- 独立支援制度の活性化により採用にも好影響
- 信頼できる入居者による安定的な不動産収入を確保

独立支援飲食ビル「ジェイチル名駅」開業

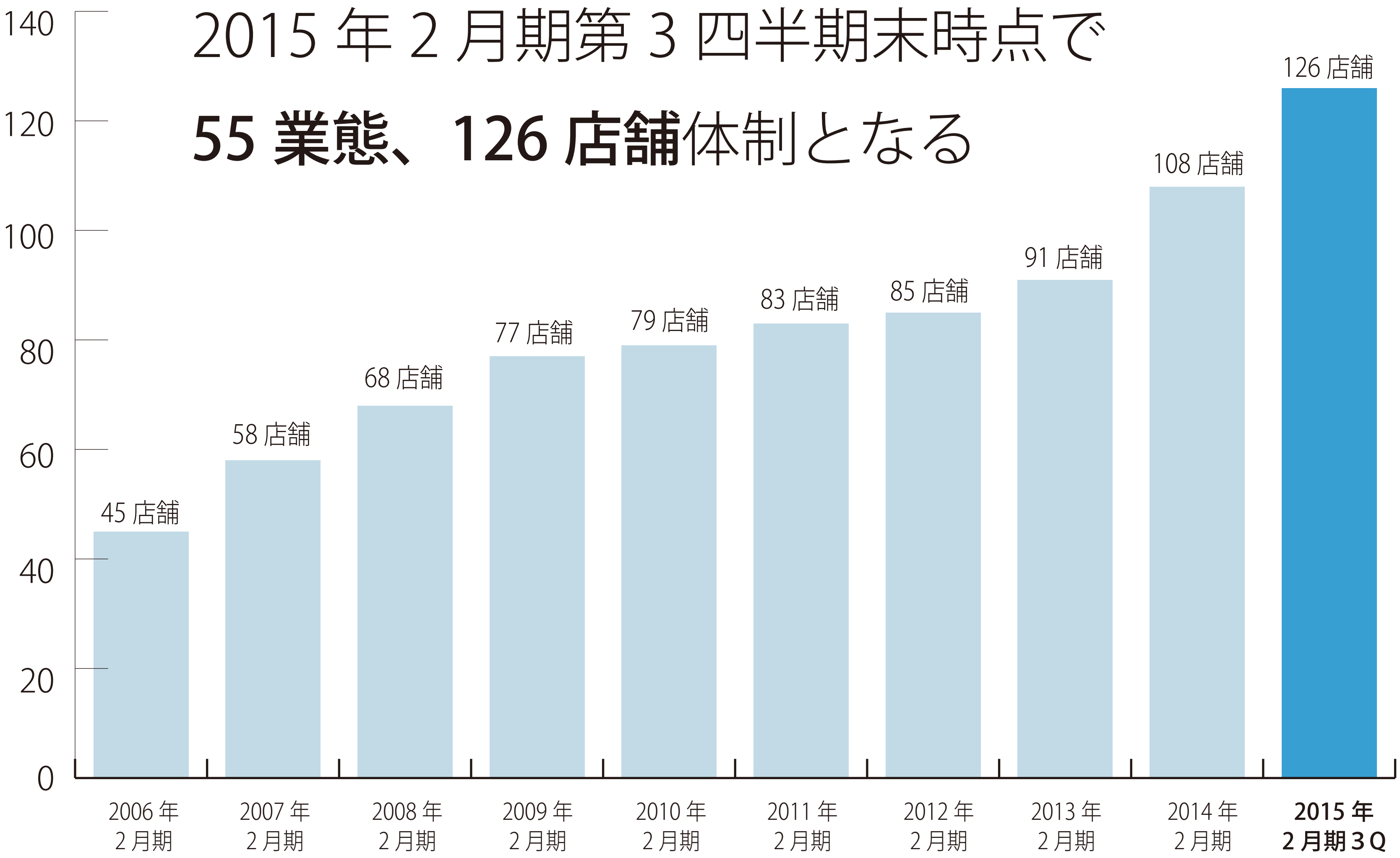
施設概要

施設名：	ジェイチル名駅
住 所：	名古屋市中村区名駅 3-5-14
敷地面積：	48.52 坪
延べ面積：	155.24 坪
構造：	鉄骨 ALC 造 地下 1 階地上 4 階建
オープン日：	2014 年 11 月 26 日

「ジェイチル名駅」入居テナント

フロア	店舗	紹介
4 F	浜やき小屋 カキ大將	活気ある店内は“旬”の牡蠣を中心に 全国から厳選素材を産地直送！！ ワイワイと楽しめる浜焼きスタイルでどうぞ！！
3 F	牛たん たん兵衛	旨味熟成した牛タン本来の味を引き出すため、 豪快な炭火焼きで一気に焼き上げた仙台名物の “厚切り牛たん炭火焼き”を始め、多彩な牛たん料理と 厳選した宮城の地酒をご堪能下さい。
2 F	鉄板居酒屋 かちどきや KACHIDOKIYA	オリーブオイルを使って、串を鉄板で焼く “くわ焼スタイル”で、素材の味を閉じ込め、素材本来の味を 堪能できます。その他メニューもこだわりの逸品！
1 F	TAP ROOM Craftbeer & dining	クラフトビールを樽生で 16 種類ご用意！ ベルギーの田舎のバーをイメージした店内で シェフが作る創作料理を！
B1F	泡×ワイン食堂 BarBino	料理・ドリンク共にリーズナブルな、 気軽に通えるカジュアルバルです。 大人のリゾート空間でオリジナルデザートを楽しめます。

店舗数の推移



2015 年 2 月期第 3 四半期末時点で
55 業態、126 店舗体制となる
140
120
100
80
60
40
20
0
45 店舗
58 店舗
68 店舗
77 店舗
79 店舗
83 店舗
85 店舗
91 店舗
108 店舗
126 店舗
2006 年 2 月期
2007 年 2 月期
2008 年 2 月期
2009 年 2 月期
2010 年 2 月期
2011 年 2 月期
2012 年 2 月期
2013 年 2 月期
2014 年 2 月期
2015 年 2 月期 3 Q

3. 今後の取り組み

継続的な構造改革の推進

原価改革

- 原材料費の高騰を前提とした再度の改革を実行
- 芋蔵における原価率は引き続き 1.0 ポイント削減を目指す

人件費改革

- 取り組みを継続し現在の人件費レベルを定型化
- さらなる低減のためハイブリッド人材の育成を強化

販管費改革

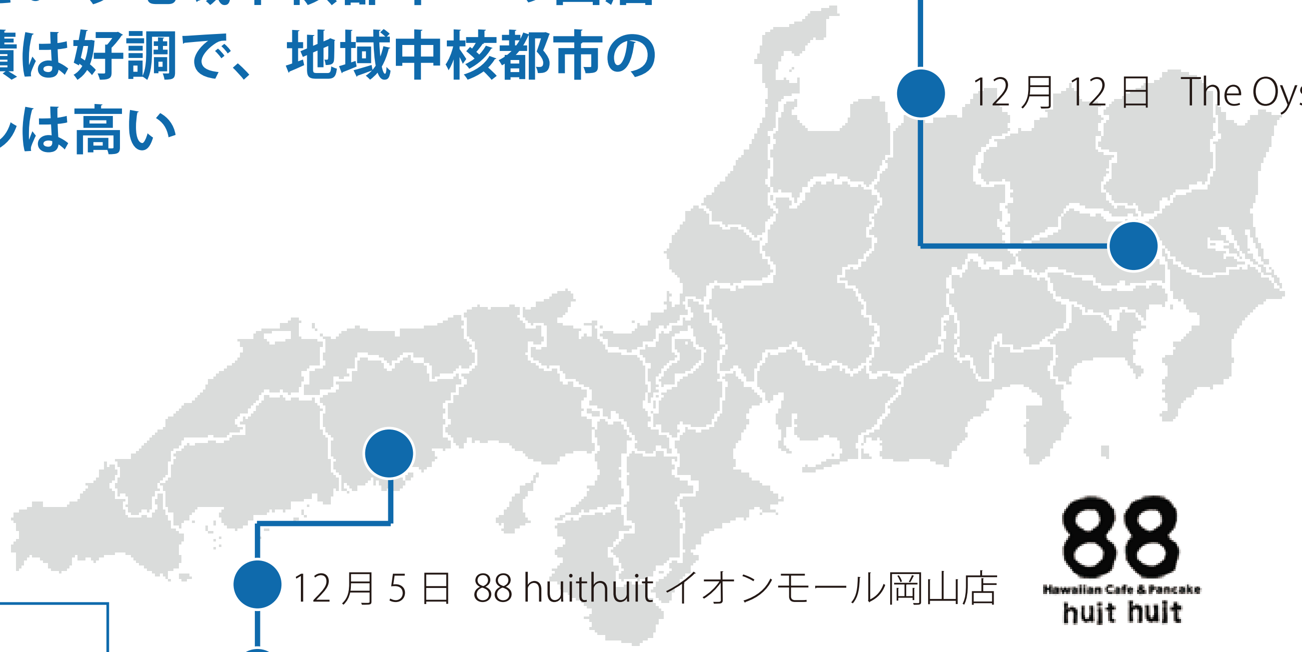
- 取り組みを継続し 1.0 ポイント削減を目指す
- 広告宣伝については自社メディアの立ち上げを検討

第 4 四半期の出店状況

新規出店等

現時点で新規出店 4 店舗
通期合計では新規出店 17 店舗、リニューアル 6 店舗

岡山、埼玉という地域中核都市への出店
出店後の業績は好調で、地域中核都市の
ポテンシャルは高い



12 月 12 日　88 huithuit
イオンレイクタウン

12 月 12 日　The Oyster House Koshigaya

12 月 5 日　88 huithuit イオンモール岡山店

12 月 5 日　芋蔵 イオンモール岡山店

● 新規出店 4 店舗

今期の業績見通し

（百万円）

	2014年2月期 通期実績	2015年2月期 業績予想	前年同期比 （%）
売上高	11,419	**13,500**	118.2
営業利益	△63	**220**	―
経常利益	△31	**236**	―
当期純利益	△139	**89**	―

配当金	中間 2.5円※ 期末 1円	中間 1円 期末 1円

※2013年9月1日を効力発生日として１：２００の株式分割を実施しているため、上記記載の配当金額は過去に遡及して算出しております。

お問い合わせ先

【ＩＲに関するお問い合わせ先】
株式会社ジェイグループホールディングス
管理本部　IR担当
TEL：052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。
複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や
債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。
また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、
事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。